

<p>△産業宣教：237 と第 1、2、3、RUTC の答え 24 三位一体の神様が主人となった産業(創 12:1-3)</p>	<p>△核心：第 1、2、3RUTC の答え 24 7 大の旅-10 の奥義 一人で生き残る Nobody (使 27:24)</p>	<p>△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1、2、3RUTC の答え 24 10 の土台-神様の方法(エペ 1:1-13)</p>	<p>△散らされた弟子たち/237、5000 を 生かす第 1、2、3RUTC の答え 24 70 人の役割(ルカ 10:17-20)</p>
<p>「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」どこへ行きなさい、しなさいという意味はない。準備されていることだ。三位一体の神様が主人となられて世界福音化する準備をみなさんにさせたのだ。</p> <p>□序論_主人(70 弟子を立てて 70 地域、種族、国を生かす道) 御座化-神様が私の主人になるということは、私に御座化の祝福が臨んだのだ。礼拝をささげるとき、御座化の祝福が臨むので、礼拝ひとつすべて終わるべき。なぜ終わらぬのか。これを受けて行かなければならない現場を見ることができなかったのだ。 70 人-イエスは連れて出て行って現場を見せられた。死んでいくたましいに大しては関心が無いのに、教会の中の働きについて葛藤するのは悪魔が好むことだ。 1. アブラハム創 13:18 祭壇を築き始めた 2. RT 7 人-何の力もないのに御座の祝福が臨んだ 3. I テサ 1:3 テサロニケ教会の色-信仰の働き、愛の苦勞、望みの忍耐</p> <p>□本論_主人?-責任を負う人 1. 産業体-三位一体の神様が主人となったみなさんの産業体 1) 創 14:1-20 メルキゼデクに十分の一献金をささげたアブラハム 2) 創 26:10-24 100 倍の答え、泉の根源を得たイサク 3) I 列 18:1-15 オパデヤ 4) ダニ 1:8-9 王宮になぜ行くのかを知って心を定めたダニエル 5) ロマ 16:1-27 この話をわかった人々が集まった所 2. 社長(任命) - 「主人は神様が私を社長に任命したことで、その働きに宣教師として派遣したのだ」 1) 創 1:28 征服して治めなさい 2) I 歴 29:10-14 ダビデの告白 3) ロマ 16:23 すべての伝道者を助けたガイオ 3. 世界福音化-神様が主人となり、みなさんを世界福音化するようになれるのだ。 1) マタ 10:40-42 水一杯も報いに漏れない。 2) 70 人-使 9:36-43、10:1-6、16:11-15、18:1-4 の人々 3) I コリ 15:58 この福音は一つも無駄にならない</p> <p>□結論_作品 1. RT7 2. ヘブ 11 章 3. パウロチーム △ここで重職者、産業人がした働きを見て、みなさんの小さいことを持って作品を作りなさい。みなさんは時代を生かさなければならぬ重職者で、産業人だ。今日からそれだけ祈れば良い。</p>	<p>どのように 70 人弟子、地域、種族、国を生かせるのか。何を伝達しなければならぬのだろうか</p>  <p>三位一体の神様が私の根本的な私たち、たましい、私の生活の中に臨めば生き返る。その時から御座の祝福 9 つが臨みながら疎通になる。3 時代を生かす証人になる。これをできる解決策であるキリスト(創 3:15)をすでに与えられたのだ。キリストを分かちてこそ三位一体の神様、御座の祝福、三つの証人になることができる。 △創 1:27、創 2:7、創 2:18 を生かせということだ。私たちが 70 戦略を使うのは人々のたましいと心の中にこの部分(3:9-3)を植えることだ。 7 大の旅という道が見える。これをずっと刻印、根、体質させるのだ。 1. 三位一体の神様が働かれる道-みことばと福音、祈りと証言がどの程度働いているのかが見える。 2. 10 の奥義 生き返る道 3. 絶対に揺れない 10 の土台の道 4. 5 つの確信の道 5. 流れを変える 9 つの道 6. 私が一生歩いて行くべき道 62 7. このときから礼拝(教会)で終わる。 7 大の旅-10 の奥義-一人で生き残る Nobody -多民族に必ず教えるべき最初のこと △信徒は世界を見る本部メッセージと講壇メッセージを強く握らなければならない。</p> <p>□本論_Nobody の方法 すでに Nobody の内容(序論)は持っている。 1. 恐れてはならない-最高の機会が来たこと Nobody -奴隷、死、捕虜、異端の濡れ衣の答え。誰も助ける者が無い。それが必要ではない。世界を生かすのに本当に必要なことはこの部分(序論)だ。 2. うらやましがることはない-なくなるべきこと かわいそうな存在-創 41 章にヨセフが会ったパロ王 3. 軽く見てはならない-現実だから サタン-教会に問題を起こして入り込んでだます。絶対にサタンの前にひざまずいてはならない。</p> <p>□結論_持続-この答えがどのように継続するのか 1. 残りの者-残る者-残れる者-残す者 2. 隠された者 3. 散らされた者 △神様が残された者と隠された者と散らされた者は福音だけ伝えればわかるようになっていく。この 70 人を見つけてなさい。神様のみことばは正確に握りなさい。</p>	<p>□序論_キリスト-作品 「キリスト」が神様の方法。Remnant はキリストの作品を作りなさい。 1. 問題 2. 答え 3. 選択 →作品を作ること △作品-時間(お金)作品を作る人はお金を使う時間がない。 □本論_なぜ、Remnant はどんな作品をなぜ作らなければならないのか 1. 運命-運命変える道がキリスト。この他では絶対に変わらない 1) 創 1:27 これを回復することが「キリスト」 2) 創 2:7 「キリスト」によって生き返ること 3) II コリ 5:17 霊的 DNA が変わる。 2. のろい、わざわざ-祝福 のろい、わざわざを祝福にする作品 3. 生活→善 大変な生活、背景、くやしいことを神様の善として作品を作りなさい。 1) 刻印(福音)-福音を刻印させる作品が時代を変える 2) 根(祈り)-どのように祈りの作品を作り出すのか 3) 体質(証人)-証人となるという作品を作ること △Masterpiece =完べきな部分 □結論 1. 創 3:15 ヨセフの作品 2. 出 3:18 モーセの作品 3. I サム 16:1-13 ダビデにサムエル通してくださったこと 4. イザ 7:14 ダニエルと三人の同僚、エステルの作品 5. マタ 16:16 この作品をさらによく作った人がパウロ(ロマ 1:16-17) △福音と福音を味わうこと、証人が私に刻印、根、体質になれば自然に働き。祈りも 3, 9, 3 が私に臨むこと。Remnant のときの小さな作品が、後にとても大きいことに</p>	<p>散らされた弟子たちが 70 人の役割をはやくすべき。70 人運動だけ考えれば良い。 □序論_弟子、地域、種族、国 70 弟子を見つけて地域を握るその中に、他の国の種族もいて他の国の人々もいる。重要な発見を先にすべき。 1. 24 祈り(幸せ、力) どんなことがあっても 24 祈りで幸せ 2. W.I.O 7 大の旅程に行く祈りをするならば 24 祈り、W.I.O となる。 3. O.U.R.S. △基準 ただ、唯一性、再創造でシステムが作られる。これが散らされた者の基準。 必ず絶対(神様) 必ず絶対に神様が願われることをどこに行っても質問 □本論 70 弟子運動をすれば必ず三つのことを見なければならない。 1. 全体を見ること 1) ルカ 10:1-20 単純な路傍伝道でなく全体を見たこと 2) 偵察人 3) カル、オリ、マル全体を見ること 2. 弟子を見ること 残された者、隠された者、散らされた者 これが弟子。すると当然、学院福音化する方法以外にない。 3. 地帯を見ること 捨てられた者-いやし 捨てられた者が見える。特にここはいやしが必要 □結論 1. 編集(みことば) どの地域でなのか見て、みことばとともに編集 2. 設計(祈り)あるものを活用 3. デザイン(伝道) 持続-システム 私が行かなくてもよいように持続するシステムを見ること</p>

△区域メッセージ			△聖日 1 部礼拝	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝
奴隷時代(出 3 章) 血のいけにえと私の 24(出 3:18、申 6:4-9)			家を建てる者たちの見捨てた石(マタ 21:33-46)	天国の模型である教会(マタ 22:1-14)
世の中の奴隷	目に見えない霊的世界	キリスト(血のいけにえ)	基礎が強固でなければ揺れて崩れる。今日、イエス様が多くの家を建てる者たちの見捨てたが礎の石になったと言われた。礎の石は基礎の石ということだ。答えが重要なのではなく、根本の答えの根源が重要だ。 □序論_みなさんの人生をどの基礎に建築するのか。人生の基礎を堅くする礎の石を正しくしなさい。 1. 未信者-神様を信じないから悪霊につかれた人に占い、お祓いしに行くが、それが人生の基礎の石になる。 2. 基礎の石が誤った教会の信徒-福音を間違っして、未信者が助けを受けられないようにする。 3. 岩のようなキリストを人生の基礎として置いたそのときから、ずっと答えが来る。 1) みなさんを滅ぼそうとするサタンはキリストだけ恐れる。 2) サタンが一番好むのは教会に通う人が福音の価値を分らないことだ □本論_確認すること-家を建てる者たちの見捨てた石が礎の石になったということばを聞いたことがないのか(42 節) 1. この契約を握ったダビデ(詩 118:1-22) 1) 詩 118:22 イエス様が引用されたダビデのことば-家を建てる者たちの捨てた石。それが礎の石になった。 2) ダビデが絶対に崩れなかった理由-キリストという岩の上に人生の基礎を置いた △福音を悟るのは神様の恵みではなくては不可能だ。 3) 真の神様を分かる者-神様がどんな危機でも救い出される 2. イエス様のぶどう園の農夫のたとえ(33-42 節) 1) 主人がぶどう園を農夫に任せたが実を求めて送ったしもべと息子を殺したので、王が軍隊を連れて行って彼らを情け容赦なく殺した内容 2) 預言者と救いのみことば伝える人を送れば殺して、福音運動する正しい団体が出てくれば異端にして、イエス様に敵対 3) 家を建てる者たちの見捨てた石。それが礎の石になった。(42 節) 3. この契約を握ったペテロ 1) マタ 16:16 信仰告白したときイエス様が言われたみことば-マタ 16:18 あなたはペテロです。絶対に揺れないこの岩の上に私の教会を建てるだろう。 2) 使 4:11-12 足のなえた者を立て起こして法廷に立ったとき、ペテロの告白-『あなたがた家を建てる者たちに捨てられた石が、礎の石となった』というはこの方のことです。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。 3) 1 ペテ 2:7-9 「家を建てる者たちが捨てた石、それが礎の石となった」ことを知らないか。あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司です。この光を宣べ伝えるために呼ばれた。 △このペテロに神様は世界福音化を任せられた。 □結論_宗教から抜け出しなさい。キリスト教は宗教ではなくて福音だ。	□序論_今どんなことが起きているかを分るべき 1. 身分-神の子どもは身分が違う。 1) ヨハ 8:44 未信者は「あなたがたの父である悪魔」に所属 2) 1 コリ 3:16 救われた者は聖霊が目に見えないようにその中に 2. 祈り-礼拝する時間に広がること 1) 詩 103:20-22 御使い、天の軍勢-みことばが成り立って神様の臨在が起り、神様の計画が成り立つ。このとき、神様は御使い、天の軍勢を送られる。 2) 黙 8:3-5 今する祈りが御座に上がって神様の前の器に入れられる。 3) ダニ 10:10-20 祈る瞬間、主の使いを送られる。 3. 満たし(働き)-このような時刻表(序論 1, 2)が続いて、満たされることが広がるとき働きが起こる。 1) マタ 12:28-30 聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国が臨んだのだ。 2) 使 1:3 40 日間神の国のことを説明した。 3) 使 1:8 満たされた時間になれば力が現れて地の果てまで証人になる。 △聖日には深い祈りの中に入らなければならぬ。六日間は答えが確認できる。 □本論_礼拝(教会) 1. 天国の披露宴 1) 三位一体の神様が臨在されるときは、特別な集いに参加すること 2) 御座の祝福が臨む時間 3) カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間に起こった答えをそのまま味わう興義 2. 婚礼の祭り △キリストが私たちの新郎なら信徒は新婦だ。 1) 契約がある所 2) 喜びがある所 3) 未来が入っている所 3. 礼服を着た者の集まり △この時は服が身分をいった。礼服を着た者だけが集まったのだ。 1) 創 3:15 知っている人が時代を動かした。 2) 出 3:18 奴隷になったとき「血のいけにえをささげに行きなさい」 △キリストを約束したのだ。人間はわざわざ、地獄の背景、サタンの暗やみの背景に絶対に勝つことができない。それに勝つは単語が「キリスト」だ。それゆえ「キリストによって服を着た」ということだ。 3) イザ 7:14 また滅びたとき、このことばをわかったダニエル、三人の青年はバビロンをひっくり返した。 4) マタ 16:16 また忘れてしまい属国になったとき △世界を生かして、変化させる礼服を着た者の集まりが教会で、礼拝だ。その祭りに参加したのだ。 □結論_神殿 1. 異邦人の庭、子どもたちの庭、祈りの庭 2. 237、いやし、サミット 3. 文化-神様の文化か、偶像文化かという神殿を持って判断する。 △霊的戦争だ。みなさんがこれから、神様の歴史にどんな記録を残すのか本当に神様の前で祈ってみなさい。
△序論_理由 1. 根本問題-創 3、6、11。ただ「キリスト」すなわち、血のいけにえによってだけ解決 2. 通路-使 13、16、19。その通路がすべて偶像、迷信、占術に陥る 3. 状態-奴隷、未信者状態 6 つで完全にサタンの奴隷 □本論_血のいけにえ 1. サタンの奴隷から解放 1) 原罪-神様を離れてしまった原罪、この創 3 章がエデンの園で起こる 2) ネフィリム-神様なしで熱心に生きてみたところ、完全にネフィリムになってしまう 3) バベルの塔-成功しようと熱心に努力したがバベルの塔のように崩れてしまう △ここから解放させることが「神様の契約、キリスト、血の契約」 2. エジプトの奴隷から解放 1) 王-奴隷: イスラエルを知らない王がイスラエルを奴隷にして圧制 2) 幼児殺害-イスラエルがますます大きくなることになったので、子どもたちを殺せと命令 3) 偶像神殿-大きい偶像神殿を作る所にイスラエルの人々を使う。神様の契約を握らなければ、世の中のお使いをして、私たちの次世代は死んでいく 3. 荒野の状態から解放 「血のいけにえ」だけが荒野の道と私たちの行く人生旅程で勝つことができる。 1) 契約の箱、幕屋、祭り(出エジプト記)-これが荒野でみ出してくる。 2) 礼拝(レビ記)-荒野を通り過ぎる中で「血のいけにえ」という礼拝を通してすべてにみな勝つこと 3) 民(民数記)-荒野 40 年間、神様の民を神様は完全に立てられた 4) 刻印、根、体質(申命記)-エジプトで刻印されたこと、荒野で根をおろしたこと、この体質を完全に変えること □結論 1. 準備-奴隷として行かないように宣教準備をしなければならぬ。 2. 宣教準備-宣教を知らずに行かないから神様が特別な人何人か選んで移民として送る 3. カ-文化征服: 神様の力で暗やみ文化を征服するように霊的な力をあらかじめ育てる。これを準備すれば霊的問題は直す必要がなくなる。				